

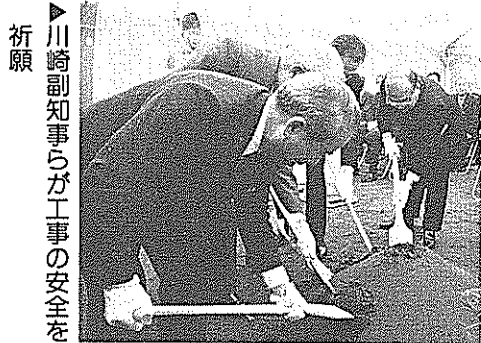
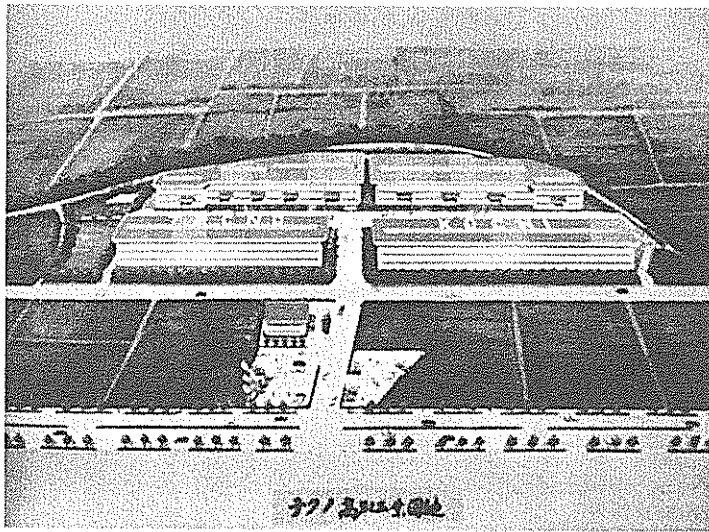
四国で初めてアパート形式の工場団地

テクノ高知起工

明見のホリデイ・イン北側に
（高知県中小企業公社（大町行
治理事長）が開発を進めていた
機械金属工業団地「テクノ高知
工業団地」の造成工事が完了、
一月十七日に工場建設の合同起

工式が行われました。
この事業は、昭和六十三年に
構想化、中小企業公社が事業主
体となって進めてきたもので、
中小機械金属工業十五社が工場
共同利用事業により集団化する

八月には参加企業が「テクノ高
知」を組織、十二月に造成工事が
完了しました。団地面積は約二
拾、延べ床面積は一二、〇〇〇
平方メートル、総事業費は四十六億
円余りを見込んでいます。

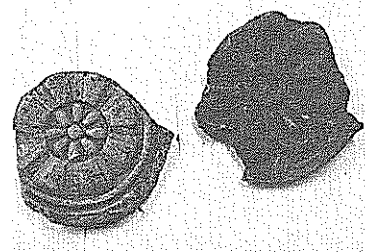


川崎副知事らが工事の安全を
祈願

もの。高度化
資金を利用し
た四国で初め
てのアパート
形式の工業団
地です。昨年

起工式には、県や市、公社な
どから川崎昭典副知事ら関係者
約八十人が出席、工事の無事を
祈願しました。
この工業団地は高速道路のイ
ンターチェンジにも近いなど立
地条件がよく
高知県の工業
製品出荷額の
底上げのみな
らず、高知東
工業高校や高
専の生徒の研
修場所として
また、地元
人材をとどめ
る場としても
期待されてい
ます。

珍しい高句麗様式の瓦(右)



白鳳時代の瓦

10万点が出土

比江廃寺跡発掘調査

遺跡保存のため、県教育委員
会が行っていた比江廃寺跡発掘
調査がこのほど終了。寺の遺構
は瓦溜めの一部しか確認されな
かったものの、白鳳時代の瓦約
十万点が出土しました。
比江廃寺は、白鳳時代から奈
良時代にかけての寺院跡。現在
比江廃寺塔跡として国の史跡に

も指定されている礎石は、同寺
の塔の心礎で、昭和四十四年の
調査でその位置は建立当時から
移動していないこと、また、法
隆寺式伽藍配置であったことな
どが確認されています。
今回の調査は、平成元年の調
査に次いで行われたもので、礎
石の東側六〇〇平方メートルを十一月
二十日から十二月二十七日まで、
約一カ月余りかけて調査しまし
た。

その結果、軒丸瓦や軒平瓦、
鬼瓦など約十萬点が出土。瓦溜
めに捨てられたままの状態で見
出されたもののほか、以前造ら
れた製紙工場の敷き石として使
われていたものもありました。
瓦の紋様などから、これらの
瓦は創建当時の白鳳時代のもの
で、川原寺式、法隆寺式、高句
麗様式、統一新羅系が混在。一
般的に一時期にこのようにさま
ざま系統のものが使われるのは
珍しく、導入期の状態や、瓦窯
との関係など、今後の研究が待
たれます。
県教委では、礎石の東側は遺
構が確認される可能性が薄いこ
とから、今後、西側を調査した
い方針です。